

校長だより

平成22年10月8日(金)

沖縄県立読谷高等学校

校長 與那覇 健勇

～読谷高校体育祭～

「いや～、良かった。よく走った。よくつないだ。ダイヤモンドたちがはじけた。今日は何も言うことはない。ありがとう」

10月3日に行われた第28回読谷高校の体育祭。閉会の校長あいさつは28秒。

「あふれる笑顔 ゆずれぬ思い 深まるキズナが 勝利へいざなう」のテーマのもと、読高プライドで頑張ると選手宣誓したとおりの素晴らしい体育祭であった。事前の準備も大変だったろうが誰もそのようなことはおくびにも出さない。全力疾走でバトンをつなぎ、クラス全員が呼吸をあわせた大縄跳びで、練習ではありえない奇蹟の跳躍をしたクラス等々……。何につけても本校の先生方と生徒たちは日本一だと改めて実感した一日であった。来賓の方々もお喜びの様子であった。

一つの学校行事が終わるたびに、生徒たちは何かを学び、人としての幅を広げ、深まっていく。行事のもつ学習効果はなにものにも代え難いものである。このような中で教育活動が日々実践されていく。そんな日常に身を置くことこそが私自身、最高の幸せであると思う。

さて、来週からは二学期の中間考査が始まり、三年生はいよいよ進学、就職決定への「修羅場」をくぐることになる。第一志望に見事合格するか、そうでないかは別にして、この時期に人生の生き方を大きく左右する瞬間に真剣に命がけで挑む。この経験を逃げずに、真正面からぶつかって欲しい。結果は二の次。命を燃やす戦いに本気でぶつかったかそうでないかが次の人生の分岐点になる。「読高プライドで頑張れ！」

いよいよ、来る11月13日は読谷高等学校創立60周年記念式典・祝賀会を迎える。期成会、同窓会を中心として、成功に向けた取り組みが展開されている。すでにマイクロバスの購入を決定し、校訓碑、製氷機、三味線、「軌跡のノート」等の贈呈があった。周年事業でなければ整備できないものばかりで本当にありがたい。寄付金のほうも目標額にほぼ達しているとの報告を受けており、成功を願っている。

次は、60周年記念事業を成功させよう。

